

# 施設における 感染症予防について

---

高槻市保健所 保健予防課 感染症チーム  
令和6年10月28日(月)



# ～内容～

1. はじめに（感染症対策の基本）
2. 感染性胃腸炎
3. 結核
4. 新型コロナウイルス感染症
5. 保健所への報告

# 1. はじめに(感染症対策の基本)

# 感染症をすごく簡単に説明すると、 「体の異常を起こすウイルス・菌等が原因の病気」

ウイルス系

インフルエンザウイルス、ノロウイルス、新型コロナウイルス など

細菌系

腸管出血性大腸菌、肺炎球菌、結核菌 など

カビ系

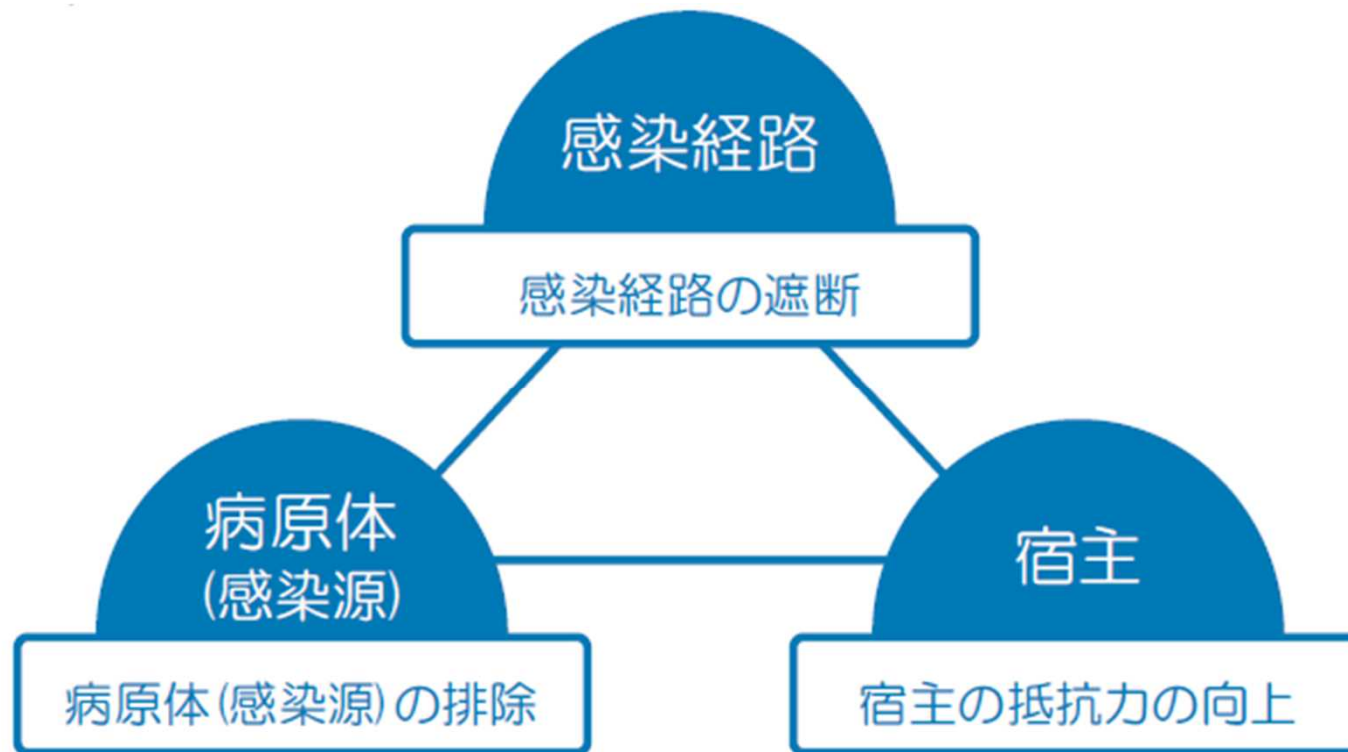
白癬菌、カンジダなど

その他

クラミジア、ツツガムシ、ダニ、マイコプラズマ、原虫、寄生虫など

ウイルス・菌等は空気中やいろんなところにいっぱいいます！

# 感染症が発生する3つの要因と 感染対策の3つの柱



## 柱1:病原体(感染源)の排除

感染症の原因となる微生物(細菌、ウイルスなど)  
を含んでいるものが感染源です

《感染源として取り扱うもの》

- ①排泄物(嘔吐物・便・尿など)、創傷皮膚、粘膜等
- ②血液・体液・分泌液(喀痰・膿など)
- ③使用した器具・器材(注射針、ガーゼ等)
- ④上記に触れた手指等

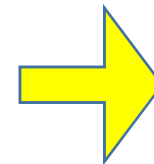
①②③は素手で触らず、必ず手袋を着用し、手袋を外した後は必ず手洗い、手指消毒をしましょう。

## 柱2: 宿主の抵抗力の向上

### 宿主の特徴

#### 《高齢者》

- 内部環境維持機能が低下
- 免疫機能が低下
- 身体機能が低下
- 合併症を起こしやすい



少しの菌・  
ウイルス量で  
発症し、  
重症化しやす  
い！！

## 柱3: 感染経路の遮断

### どうやって感染経路を遮断するの？

疑われる症状がある場合

- 感染経路別の遮断

- ① 空気感染  
(飛沫核感染)
- ② 飛沫感染
- ③ 接触感染



平時から全ての  
利用者に対して

- 標準予防策

(スタンダード・  
プリコーション)



## 柱3: 感染経路の遮断

### ① 空気感染(飛沫核感染)について

飛沫より粒子の小さい( $5\mu\text{m}$ 未満)エアロゾルが数時間程度空気中を漂い、目・鼻・口などの粘膜に触れることで感染します。

#### 【エアロゾルが発生する場面】

咳やムセがある場合、喀痰吸引や口腔ケアを実施する場合等

- ▶ 小さいエアロゾルが発生する場面では、N95マスクの着用の対策を実施する。
- ▶ エアロゾルの滞留防止: 風の流れをイメージして換気する(グリーンゾーンからレッドゾーンにむけて)。

## 柱3: 感染経路の遮断

### ② 飛沫感染について

ウイルスを含む飛沫(くしゃみのしぶき等)が、目・鼻・口などの粘膜に触れることで感染します。飛沫は粒子が大きく(5 $\mu$ m以上)、落下しやすい(数秒~数分)。到達範囲は2m以内。

- ▶ 目の粘膜の保護: アイシールド、ゴーグルまたはフェイスシールドを着用する。
- ▶ 鼻・口の粘膜の保護: 日常的にN95マスクを着用する必要はなく、基本はサージカルマスクで対応。

## 柱3：感染経路の遮断

### ③接触感染について

感染している人との接触や汚染された物との接触により感染します。汚れた手で目・鼻・口の粘膜に触れることで病原体が体内に入り、感染が成立すると言われていています。

- ▷手指の清潔維持：手洗い、手指消毒を実施する。
- ▷環境の清潔維持：床や壁ではなく、高頻度接触部位を拭き取り消毒する。
- ▷衣類への付着防止：患者や患者の周辺環境に身体が密着する場合に接触することや飛沫を浴びることが予想される部位に応じて、ガウンまたはエプロン、手袋を着用する。

## 柱3: 感染経路遮断

# 標準予防策 (スタンダード・プリコーション)って何？

接する利用者の感染症の有無に関わらず、  
平時から分泌物・排泄物・傷のある皮膚や粘膜は  
すべて感染源とみなして予防策をとること。

手洗い

手袋

マスク

ガウン

ゴーグル

リキヤップ  
の禁止

## 柱3:感染経路遮断

### 基本は手洗い！



◆手には微生物やよごれがつきやすく、手に付着した微生物が口や鼻などの粘膜から体内に入り感染症を引き起こす恐れがあります。処置前や処置の後に必ず手を洗うことが大切です。

#### ◆手指衛生が必要な5つのタイミング

- ①利用者に触れる前
- ②清潔操作の前
- ③血液・体液に触れた後
- ④利用者に触れた後
- ⑤利用者周辺的环境に触れた後

柱3: 感染経路遮断

手袋は手指衛生の代わりにならないのか

手袋 ~~=~~ 手指衛生

## まずは“平常時”にしっかり対策

- ①病原体(感染源)を  
持ち込まない・拡げない・持ち出さない
- ②手洗い・うがい・環境の清掃
- ③日頃から利用者の健康状態を把握
- ④職員の健康管理
- ⑤マニュアルの作成
- ⑥研修や模擬訓練を実施
- ⑦体制・組織づくり

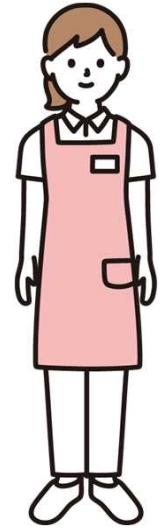
## 2. 感染性胃腸炎

(嘔吐物等の処理、消毒の仕方、発生時の対応など)



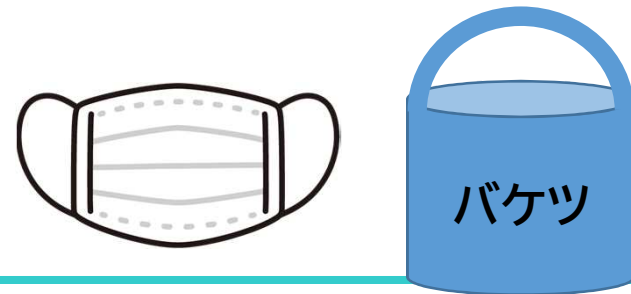
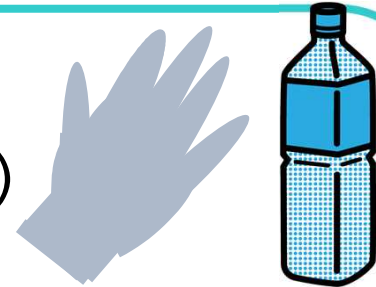
## 排泄物、嘔吐物の処理

感染した人の糞便や嘔吐物の処理は、  
処理をする人自身への感染と、  
施設内への汚染拡大を防ぐため、  
**適切な方法で、迅速、確実に行う**ことが必要です。



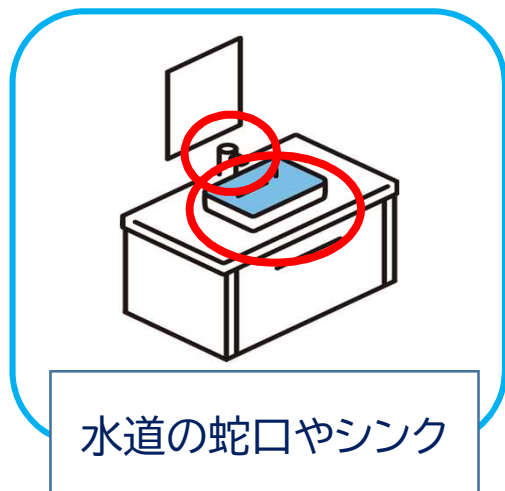
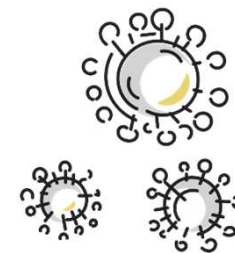
### <消毒物品セット>

- ・使い捨て手袋
- ・次亜塩素酸ナトリウム(消毒液)
- ・マスク
- ・専用バケツ
- ・使い捨ての防水性エプロン(ガウン)
- ・拭き取るためのペーパータオル
- ・ビニール袋(ゴミ袋)



～DVD～  
嘔吐物の処理手順

# ノロウイルスは こんなところに潜んでいます



水道の蛇口やシンク



ドアノブ



トイレの蓋、便座

手すり、ベッド柵、汚物処理室、  
エレベーターボタンなど…

靴底やカーテンなどに潜んでいることも…

共用タオルの使用はないですか？

# 消毒

病原体を、感染症を起こさない程度にまで殺菌  
または減少させること

## ◎熱による方法

85～90℃で90秒間以上

## ◎消毒薬による方法

- ・消毒したい病原体に効果のある薬品を選ぶ  
→ 次亜塩素酸ナトリウム
- ・消毒薬は汚れを落としてから使う

# 消毒薬について

## 次亜塩素酸ナトリウム

(家庭用塩素系漂白剤・・・ハイター／ブリーチなど)

- 消毒は、原則「噴霧」ではなく「清拭」で行う
- 家庭用酸素系漂白剤(ワイドハイターなど)では効果がない
- 金属は腐蝕させるので、使用後水拭きする

## 注意点

### ～消毒効果を低下させないために～

- 作った消毒液は、時間の経過とともに効果が減少する。こまめに作って使い切りましょう。
- 消毒液の容器の蓋を忘れずに・・・
- 汚れた衣類等をバケツ等に入れた消毒液に浸してつけ置きした場合は、一回毎に消毒液を入れ替える。

# 家庭用塩素系漂白剤を使った消毒液の作り方

便や嘔吐物が付着した床・衣類・トイレ

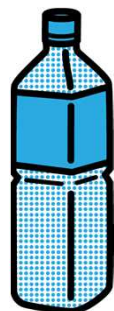
トイレの便座やドアノブ・手すり・床など

0.1%(1000ppm)

濃い

0.02%(200ppm)

薄い



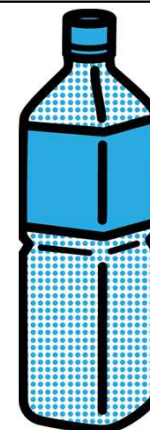
500ml



キャップ2杯

500mlの水 (1杯は約5cc)

塩素濃度  
約5%  
のもの  
を使用した場合



2ℓ



キャップ2杯

2000mlの水 (1杯は約5cc)

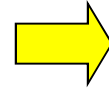
$10\text{ml} \times \text{約}5\% / 500\text{ml} = \text{約}0.1\%$

$10\text{ml} \times \text{約}5\% / 2000\text{ml} = \text{約}0.02\%$

・どちらも**キャップ2杯**  
(ペットボトルの大きさを覚えて！)

# 感染性胃腸炎かな？と思ったら

下痢・腹痛・嘔吐などを  
訴える人が多い

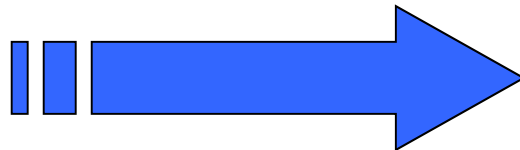


必要に応じて、  
医師の診断を受ける

・いつから？  
・症状は？ 下痢・・・どんな？  
腹痛・・・どのあたり？  
発熱・・・何度？  
嘔吐・・・何回？  
その他の症状・・・発疹、咳など

他に体調不良の利用者  
や職員がいないか確認

感染拡大防止  
対策の実施



保健所へ報告



# 感染性胃腸炎発生時の対応

## ① 二次感染防止対策を徹底する

- ・手洗い
- ・排泄物・嘔吐物の速やかかつ適切な処理
- ・リネン類の洗濯・消毒
- ・施設内の消毒

## ② 接触を制限する

通所者...症状が治まるまで利用をしばらく止めてもらう

入所者...有症状者の部屋を分ける。(個室対応、逆隔離など)

来所者...来所時や帰宅後の十分な手洗い・うがいの励行を指導

施設内で流行しているときは、来所を控えてもらう。

来所者自身が体調不良のときは来所を控えてもらう。

集団活動の自粛

# 感染性胃腸炎発生時の対応

## ③調理従事者からの二次感染対策

手につけたウィルスを食品につけて感染を拡げる可能性が考えられる。

⇒石鹼で十分な手洗い励行

盛り付けや配膳時の作業には、使い捨て手袋の着用を習慣化する。

## ④接触者の経過観察

作業にあたった職員、周囲にいた方々の健康観察を3日程度行う。

## 感染性胃腸炎(まとめ)

- 感染拡大を防ぐためには、早い段階で感染が疑われる人を把握すること。日頃からの健康管理が重要。
- 施設においてはウイルスを持ち込まない対策も重要。
- 二次感染の予防方法は、全職員が感染対策を正しく理解しておくことが大切。理解したうえで、効率よく実施しましょう。
- 日頃からの手洗いを徹底しましょう。

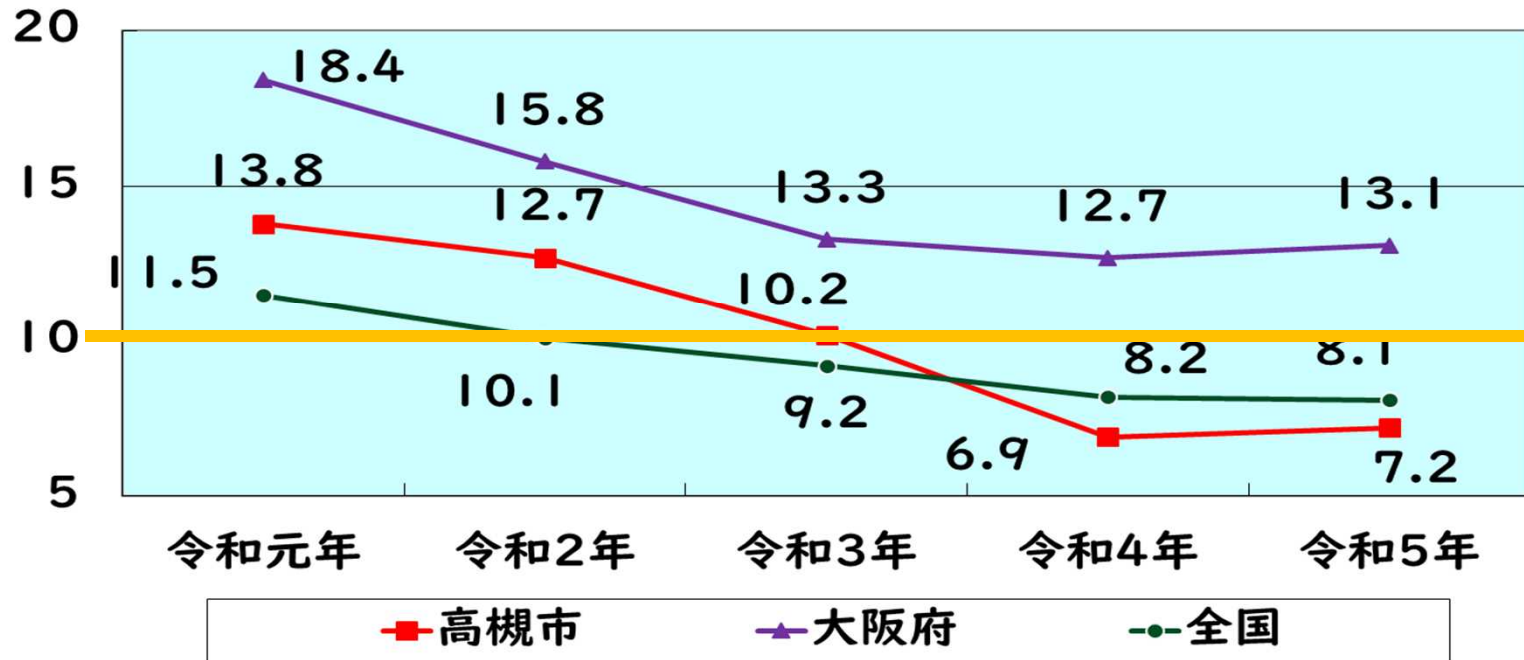
## 3. 結核

# 高槻市の結核

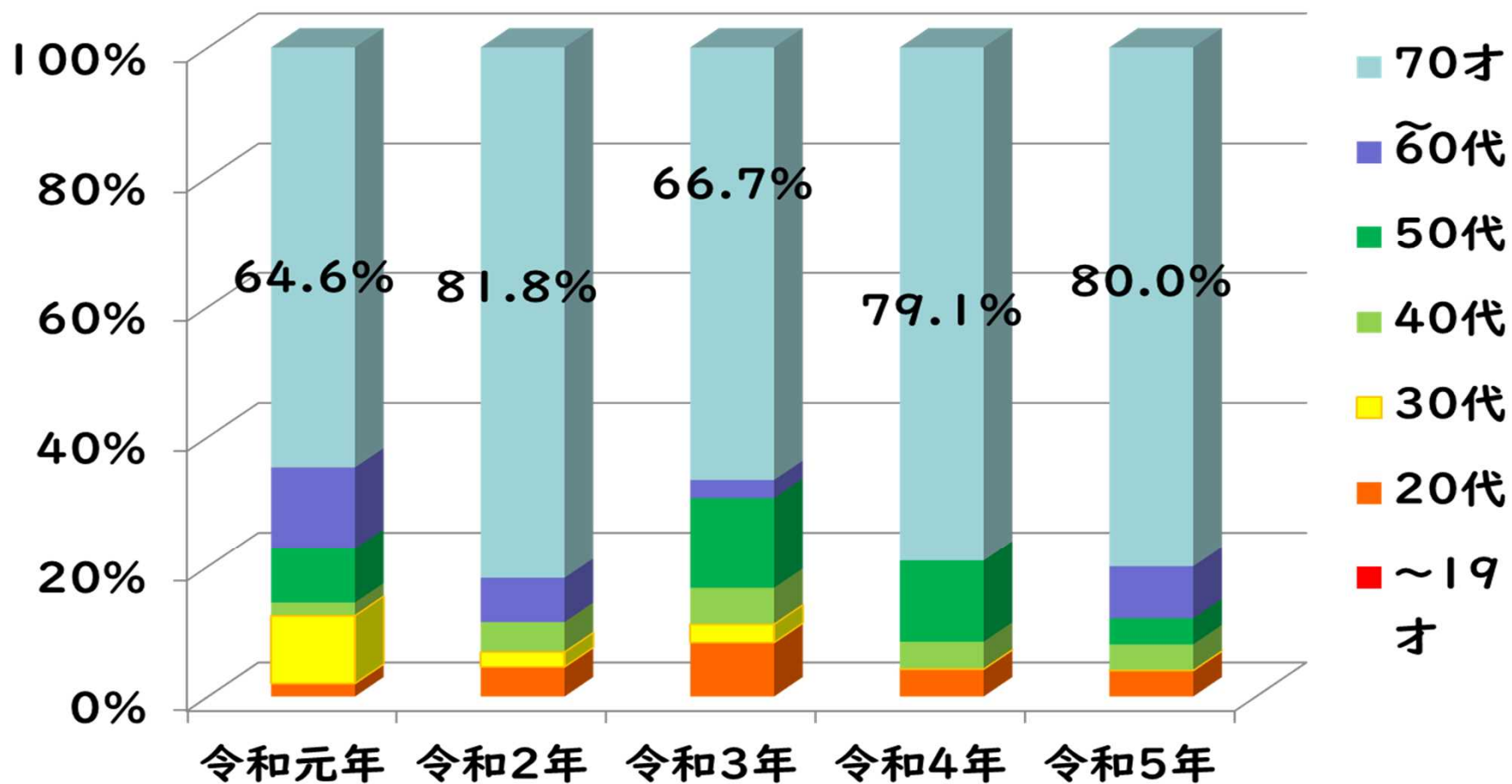
令和5年の結核罹患率「7.2」・新登録患者「25人」

## 罹患率

※罹患率:人口10万人あたりの新登録患者数

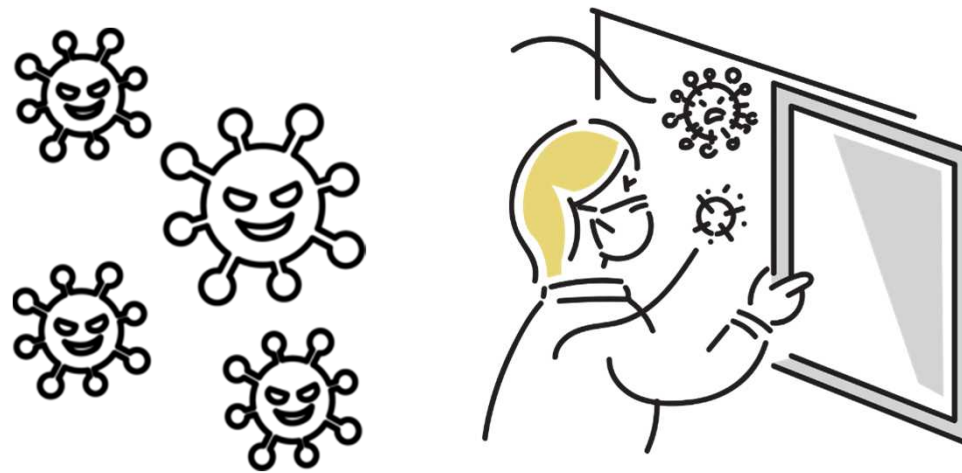


# 年代別患者割合・新規登録患者数



# 結核はどのように感染するの？

結核は **空気感染** です



結核菌が空気をつたって肺に入り感染します  
肺より手前で排出されれば感染はしません

## 結核ってどんな症状がでるの？

### 呼吸器症状あり

- 咳
- 痰
- 呼吸苦
- 胸痛

### 呼吸器症状なし

- 全身倦怠感
- 食欲低下
- ADL低下
- 微熱



結核って人にうつすの？

感染 と 発病 は違います！

発病しなければ、他の人に結核菌を  
感染させることもありません。

たとえ結核菌に感染していても、  
全員が発病するわけではありません。

## どんな人が結核を発病しやすいの？

結核  
罹患歴

糖尿病

慢性腎不全  
透析

ステロイド  
治療

HIV  
エイズ

胃切除  
胃潰瘍

休養不足

強い  
ストレス

栄養不足

## 万が一結核が発生したら①

### <患者本人>

- ・結核の治療  
入院(必要時)、定期的な通院、服薬治療
- ・服薬管理  
服薬後の空袋などでの確認

## 万が一結核が発生したら②

### <かかわりのある施設>

- ・接触者調査  
スタッフ、同室利用者等のリストアップ
- ・健康診断(感染していないかの確認)  
胸のレントゲン、血液検査

にご協力いただくことがあります。

## 日頃から注意することは？

- ①利用者の結核の既往歴(陳旧性肺結核含む)や家族歴・接触歴を確認する。
- ②2週間以上続く倦怠感、食欲不振、咳、発熱は結核を疑う。
- ③年1回の胸部X線検査で健康状態を確認する。
- ④食事介助や痰の吸引など咳を誘発しやすい行為は、マスクを着けて実施する。

## 4. 新型コロナウイルス感染症

# 新型コロナウイルス感染症対策としては・・・

- ・オミクロン株については伝播性が非常に高いものの、発生初期と比較して重症度が低下している。
- ・他方で、高い伝播性により感染者が増加し、医療提供体制への負荷が高くなっているほか、死亡者が多くなっていることには留意が必要。
- ・位置づけの変更により新型コロナウイルス感染症の特徴が変わるわけではないことから、今後も感染拡大が生じうることを想定して、高齢者や基礎疾患のある者など重症化リスクの高い者を守ることも念頭に、必要な感染対策は講じていくべきである。

▶ 令和5年1月27日 厚生科学審議会感染症部会

感染症法上の位置づけ変更後においても、  
陽性者が多数発生している状況。



新型コロナのウイルス自体が大きく変わったわけではないので  
感染対策の継続が必要。

# 新型コロナウイルスの感染対策

## 陽性者に対して感染対策が必要な期間

### 陽性者についての療養の考え方(参考)

- 発症後5日間経過し、かつ解熱および症状軽快から24時間経過するまでは外出を控えることが推奨されます。
- 発症後10日間が経過するまでは、マスクの着用等周りの方へうつさないよう配慮をお願いします



（参考：位置づけ変更後の新型コロナに罹患した医療従事者の就業制限の考え方 / 厚生労働省）



## 新型コロナウイルスの感染対策 接触者に対して感染対策が必要な期間

令和5年5月8日以降、新型コロナ患者の濃厚接触者として法律に基づく外出自粛は求められなくなった。

↓ **新型コロナウイルスの感染力に大きな変化はないので**

- ・陽性者発生時に、周囲の利用者や職員との接触状況を確認。
- ・接触状況から誰を接触者として対応するか検討。
- ・利用者であれば、居室の移動等対応が必要か。  
可能であれば、個室対応が望ましい。
- ・潜伏期間を念頭に、いつまで感染対策を行うか検討。
- ・施設内で周知を行う。

## 新型コロナウイルスの感染対策における間違いやすいポイント

### ①陽性者の隔離のために部屋を移動した時

もとの部屋は消毒したほうがいい？

 **使用予定がなければ、消毒する必要はありません。**

- ▶72時間程度経過すると新型コロナウイルスは不活化します。  
使用予定がない場合には、72時間放置させてから通常通りの清掃・消毒をしましょう。

### 陽性者が発生したら

- ◎まずは施設内での取り決めに従い、情報共有しましょう。
- ◎陽性者の生活空間をその他の入所者とどのように分けるか検討し、職員全体で情報共有を図りましょう。
- ◎ゾーニング・動線の検討、防護具の準備

# 新型コロナウイルスの感染対策における間違いやすいポイント

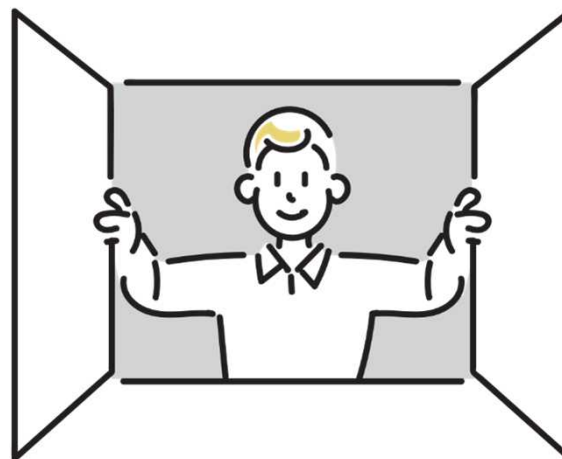
## ②換気について

空気清浄機があれば換気はいらない？

➡ **空気清浄機だけでは換気できません。**

▷空気清浄機は、換気を補うものとして、  
窓開け換気に加えて活用しましょう。

◎対角線上に窓を開け、  
サーキュレーター等も  
利用して風の通り道を  
作りましょう。



## 5. 保健所への報告

平成17年2月22日付

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」

令和5年4月28日

一部改正

- 新型コロナウイルス感染症
  - インフルエンザ
- 感染性胃腸炎(ノロウイルス等による)
  - 食中毒等
  - MRSA
  - 疥癬

以上の疾患でなくても、  
通常の発生動向を上回る感染症等が疑われ、  
施設長が必要と認めた場合

## 報告の基準(令和6年10月時点)

- ア 同一の感染症若しくは食中毒によるまたはそれらによると疑われる死亡者または重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- イ 同一の感染症若しくは食中毒の患者またはそれらが疑われる者が10名以上または全利用者の半数以上発生した場合
- ウ ア及びイに該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

# 感染症連絡票

ご記入の上、  
FAXでご報告を。

(とりあえず電話で相談も構いません。)

※高槻市ホームページ  
のキーワード検索で、  
「感染症連絡票」と  
検索すると、エクセル様  
式でダウンロードする  
ことができます。

入所者及び施設利用者								
保健所		FAX 661-1800		令和 年 月 日				
関係部局		FAX						
感染症連絡票								
【インフルエンザ・ノロウイルス等感染性胃腸炎・疥癬・新型コロナウイルス感染症等】								
施設名								
	連絡先電話番号( ) FAX( )							
	E-mail ( )							
記入者	氏名			職種				
1. 患者数 人 ( 年 月 日 ) 人中								
2. 患者内訳								
	性別	年齢	症状及び出 発した時期	医療名 院名 診断日	入院	転帰	ワクチン 接種	備考
1	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
2	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
3	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
4	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
5	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
6	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
7	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
8	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
9	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	
10	男・女	歳	月 日	月 日	有( 月 日 )	快復 病室中 退院 死亡 ( 月 日 )	有・無	

# 感染症発生状況表(感染性胃腸炎のみ)

患者発生状況				施設名 :														
入所者		階		名														
氏名 (イニシャル)	年齢	性別	部屋No	所属	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	検便	備考		
例	H・N	87	女	212	2F	嘔吐	嘔吐	下痢	腹痛	症状	なし						胃ろう・下剤使用	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
				新規患者														
				累計患者														
				0														
職員				名														
氏名 (イニシャル)	年齢	性別	職種	所属													検便	備考
1																		
2																		
3																		
4																		
				新規患者														
				累計患者														
				0														

※高槻市ホームページのキーワード検索で、「感染性胃腸炎」と検索すると、エクセル様式でダウンロードすることができます。

高槻市ホームページ ID:098579



## 保健所としては・・・

- 施設内で、感染の拡大を防ぎたい
- 重症・死亡といった事態を避けたい
- 集団感染を起こさせない



施設の方々と一緒に対応を検討し、  
終息まで一緒に見守ります

# 感染症に関するご相談は

高槻市保健所  
保健予防課  
感染症チーム

072-661-9332

までご連絡ください。

